

第 4 0 回
神奈川県
美術展

The 40th Kanagawa Art Exhibition 2004

第40回 神奈川県 美術展

The 40th Kanagawa Art Exhibition 2004

I期展 [平面立体] 平成16年9月8日(水)－9月19日(日)

II期展 [工芸・書・写真] 平成16年9月22日(水)－10月3日(日)

会場 神奈川県民ホールギャラリー

主催

神奈川県美術展委員会
神奈川県民ホール【(財)神奈川芸術文化財団】
神奈川県

共催

(財)厚木市文化振興財団
ハーモニーホール座間【(財)座間市スポーツ・文化振興財団】

協賛

(財)神奈川県美術奨学会／(財)はまぎん産業文化振興財団／
(学)岩崎学園／(株)ニコン／神奈川県文具事務用品団体連合会／
(財)シルクセンター国際貿易観光会館シルク博物館

後援

神奈川新聞社／NHK横浜放送局／テレビ神奈川／FMヨコハマ

厚木巡回展

平成16年10月6日(水)－17日(日)
休館日：10月12日(火)、13日(水)
会場／厚木市文化会館展示室

座間巡回展

平成16年11月10日(水)－21日(日)
休館日：11月15日(月)
会場／ハーモニーホール座間ギャラリー(座間市立市民文化会館)

ごあいさつ



このたび、記念すべき第40回神奈川県美術展が、数多くの優れた作品の出展を得て、盛大に開催されますことを、主催者の一員として心から嬉しく思います。

神奈川県美術展は昭和40年の第1回展以来、県内最大規模の公募形式の総合美術展として、創作活動に取り組む方々に日ごろの研鑽の成果を発表する機会をご提供し、広く県民の皆様に親しまれてまいりました。

40年の歴史を歩む中で、美術愛好家のすそ野を広げることはもとより、入賞を契機にプロの芸術家として活躍される方々を数多く輩出するなど、本県美術の振興、そして人材の発掘・育成に貢献できましたことは、大きな誇りであります。

今回も、平面立体、工芸、書、写真の各部門を合わせて1,800点を超える応募作品の中から、厳正な審査を経て選ばれた、素晴らしい入賞・入選作品534点が展示されております。いずれ劣らぬ秀作の数々は、ご来場の皆様を魅了し、大きな感動をもたらしてくれるものと確信しております。

文化芸術は、私たちの生活に潤いを与え、心を豊かにしてくれます。県では、文化芸術活動の主役である県民の皆様の自主性や創造性を大切にしながら、県内各地で多彩な文化芸術が育まれ花開く環境づくりに積極的に取り組んでおります。この美術展の開催を通して、県民の皆様の文化芸術活動がより一層活発になり、個性豊かな地域文化の発展の契機となりますことを願ってやみません。

最後に、このたびご出品くださいました方々の創作にかけられる情熱に深く敬意を表しますとともに、本美術展の開催にご尽力いただきました関係の皆様に厚くお礼申し上げます。

ご来場の皆様には、新進美術家の優れた作品の数々を存分にご堪能いただければ幸いです。

平成16年9月8日

神奈川県知事 松沢 成文

ごあいさつ



神奈川県美術展は、昭和40年の第1回展から回を重ね、今年、記念すべき第40回の展覧会を迎えることになりました。これまで若手美術家の登竜門として、また多くの優れた美術家を輩出してきた県内随一の公募展として、県民に親しまれ、本県美術界に貢献してまいりました。このことは、ひとえに、多くの皆様の熱意とご尽力の賜物と心より感謝申し上げます。

今回の40回展では、平面立体、工芸、書、写真の全4部門に1,018人、1,883点の応募があり、各部門の厳正な審査の結果、463人、534点の作品が選ばされました。出品点数は毎年増えており、選ばれた作品はいずれも高い水準に達しております。

本県は美術活動の盛んな歴史と土壤を備えており、また近年、社会における芸術文化の果たす役割が重要性を増し、美術による自己表現を求める人々がますます増えております。

ご応募された皆様の創造する心に敬意を表するとともに、これからも県美術展において、多くの方々の切磋琢磨、交流が行われることを祈念いたします。

なお、この度の展覧会で厳正かつ丁寧な審査にあたられた審査員の皆様と、県美術展の運営に専門的な立場からご助言をいただいた県美術展委員の皆様に厚くお礼申し上げます。

また、特段のご支援を賜りました財団法人神奈川県美術奨学会様、財団法人はまざん産業文化振興財団様、さらに、40回記念賞を賜りました学校法人岩崎学園様、株式会社ニコン様、神奈川県文具事務用品団体連合会様、財団法人シルクセンター国際貿易観光会館シルク博物館様、そのほか関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成16年9月8日

神奈川県美術展委員会委員長 原 範行

I期展
平面立体

受賞作品目録

平面立体

大賞	坂本 友里	川崎市	ゆめのかず
準大賞	肥沼 守	茅ヶ崎市	航海譚～ファントム・ペイン氏の旅～
特選	大塚 晶	青梅市	欠陥の大器
特選	齊藤 智史	相模原市	記憶の地
特選	藤井 志帆	相模原市	Untitled W04-001A7
県立近代美術館賞	渡邊 洋	小平市	雨あがりの住居
美術奨学会賞	村松 俊夫	横浜市	揺れる虚空・風花の輪舞
はまぎん財団賞	渡辺 幸子	鎌倉市	過ぎ去りし日Ⅱ
40回記念 岩崎学園賞	近藤 宏治	横浜市	ぶらさがる男

※ 美術奨学会賞は、財団法人神奈川県美術奨学会から神奈川県美術展に出品した優秀な作家に給付される奨学金です。

※ はまぎん財団賞は、財団法人はまぎん産業文化振興財団から神奈川県美術展に出品した優秀な作家に贈られる賞です。

※ 40回記念 岩崎学園賞は、学校法人岩崎学園から神奈川県美術展の開催40回を記念して平面立体部門の優秀な作家に贈られる賞です。

※ 市町村名は現住所です。

入選作品目録

平面

内藤 範子	芒原
高橋 秀幸	作品 I < M-0401 >
横須賀 近	寺家ふるさと村
吉田 光児	己
内山 徹	海の見える丘
吉岡友次郎	偽装譜
杉本 美子	己から他へよみがえりをはらむもの シキミII
正木 淑子	何処へ III
志沢 和子	蜃気楼
久保 恵子	ゆ・ら・ぎ II
田辺いづみ	孤独の間隔
猪原 桜水	心の部屋—6—
城戸 良恵	family
岩佐 葉子	on the train
芹澤 肇	お花見
YOKO・田中	04—remembrance—8
佐々木朋子	G dur
都守 太朗	のこされた～Endless～
金井 芳郎	息子亮太 2・3・4
佐藤 陽子	たゆたい
山形 忠正	SEI-シリーズ 回帰（赤）・2004
久保 敬子	休息
船越 郁美	朝明けの涙雨
島田 正紀	或る日の午後
堀込 幸枝	静物 2
服部 良美	気雨
村杉 哲子	プレリュード
岩瀬 哲夫	KAO - 2004 - 1
鶴飼しをり	La Ghironda I
釣谷みよ子	昭和新山
鈴木 滋子	バスタブ
角森 昭収	遡・累・瞰
白崎 裕人	フィールド・ゲーム
澤田 サチ	予感（I）
中山 智介	内から外へ I
三田 健志	完全 8 度
三瓶 光夫	玉響 173
岡本ヒロシ	Love, call. (I)

上田 圭一	U氏の生まれた家
今井李々子	Untitled 04 - 1
八幡 幸子	遥か
楠本 恵子	五月の詩
小林 敏子	SIENA II
山岸美恵子	伝えたい言葉
亀谷勇美子	夏を惜しむ
小澤はるみ	Intimacy - Q
矢田谷 智	Breathe
安田 文夫	LIVE IN SHONAN
樋口 晃子	人生大夢
関 迪子	コンポジション II
菅沼 稔	Penetration · 30
藤崎 淳子	内包する
金子 透	ESPACE
金 玉蓮	森中
渡辺 和子	希望
石井いつ子	BAY AREA (MID SUMMER)
岸上嘉世子	脱走
金谷ゆみえ	ADESSO
穂積 千幸	De levenskracht (生命力)
目黒 敏子	紋
田家ハルミ	夢がたり II
森田 稲子	貌 R
新恵美佐子	cosmos
澤岡 泰子	To the universe - 11
山田 良絵	電線
布野 晓子	憧憬
菊池 忍覚	讚・ゴヤ「犬」
菊池 忍円	困惑するジョルジュ・サンド
加藤 敏夫	時流 - 2004 -
大橋 幹	モリー
筒井 明志	人と自然
星 美加	記憶の中の風景
藤本 洋子	夢幻
阿曾村節子	待ち続けるコト
根本 雅行	エコーズ
伊藤 彰規	land '04 - II

関水 英司	増殖のための生理作用 I
佐藤 英行	墨（すみ）
佐藤 潔	変容
土屋 雅敬	あとかたー Raigō
河津 幸子	窓の外
小林ちひろ	月の雫
三好 正人	ミナソコニテⅢ
坂本 雅彦	浪漫紀行
折笠 晴美	2004・部屋
浅葉 雅子	Just a Beauty

立体

川島 茂雄	自立の実験 2004
鈴木 桃子	あ・うん
鈴木 和宏	命の大切さと夢さ
堀口 真寿	Confusion 2004
長谷川 創	接ぎ継がれ
速水 洋子	ミルクヒル
花塚 愛	虚飾器
小山 祥吾	仮想水 # 01
豊島さち子	終らないおしゃべり
森 芳文	光採彫刻画ー夕照ー
須田 千尋	大地に根づく
生越麻紀子	女子高生（先生、それともナンパ？）
山本 秀明	生痕

審査講評

平面立体

この審査に関わるのは今回がはじめてである。したがって白紙の状態で審査に臨むこととなった。

神奈川県という地の利—人口が多く、芸術に接する機会にも恵まれ、美大生や美術関係の人々も多い—ゆえであろう、手遊（すさ）びの作品というのはほとんど見られなかった。大作が多く、内容、技術ともにそれなりの質を示していた。それにもかかわらず傑出した作品が少なかったというのが、私だけでなく、大方の審査員の感想であった。通常、審査していると何点か非常に心に残る作品があるものだが、そういう作品に出くわさなかつたのである。

複数出品が多いというのも、この展覧会の顕著な特質ではないかと思う。平面の応募者249人、応募作品403点という数値から、半数以上の出品者が複数（ほとんどが2点）出品していることが判る。そして今回、複数出品作品をどう扱うかが審査員の間で問題となつた。

この展覧会の審査方法（案）には「同一作者の複数入選候補があった場合、1点を残し、他は選外とする。」という一項目が盛られており、それには“多くの候補者に入選の機会を与えるための県展の慣例”という注記が付されている。これは私が今まで携わってきた県展等この種の展覧会の不文律のようなものである。しかし不文律というのは、変更しようと思ったら変更出来るのであるから、前もって各審査員の同意、もしくは意向を確認しなかつたのは審査員長をつとめた私の手落ちであった。

審査員は一人でもよいから優れた芸術家の誕生を期待し育てたいと願う一方で、美術の底辺の広がりを願う。そのどちらにシフトをおくかという温度差が今回の審査で露呈したのである。結果的には複数入選という作家はいなかつた。しかし審査員が一作家の複数作品を目にすることによって、その作家を、良くも悪くも、より深く知り、それが審査に影響を及ぼしたことは否めなかつたと思う。

この問題は今後、神奈川県美術展委員会で討議されるべき問題であろう。

次に受賞作について述べたい。

大賞、特選2点、美術奨学会賞の計4点が立体作品で

あった。受賞作品はすべてで9点、しかも立体作品の応募者数は32人、応募作品数は35点であるから、今回立体はおおいに健闘したといえる。また受賞者9人中女性は3人で、女性上位の昨今としては意外に少ない。

大賞：坂本友里「ゆめのかず」は幼稚園のお教室であろう。机上には詩がかかけられた紙。その詩のとおり、子どもたちの目から花が咲きだすというイマジネーション豊かな作品であり、審査員全員の高い評価を得た。

準大賞：肥沼守「航海譚～ファンタム・ペイン氏の旅～」は平面上に立体人物が貼り付いたような作品である。平面性と立体性、近代的であると同時に古典的でもある絵画表現など、随所に見られる表現上の対比が作品に奥行きをもたらしている。

特選：大塚晶「欠陥の大器」の人物はイラクの日本人人質青年を想起させる。そのこともあって作家からのメッセージが強く感じられる作品である。

特選：藤井志帆「Untitled W04-001A7」は陶作品である。陶技術を駆使した形態の面白さと、陶本来の複雑微妙な色合い、肌合いをうまく融合させた点を評価したい。

特選：齊藤智史「記憶の地」は全体に荒削りな感は否めないが、情感がこもっている。まだ22歳とのこと、将来に期待したい。

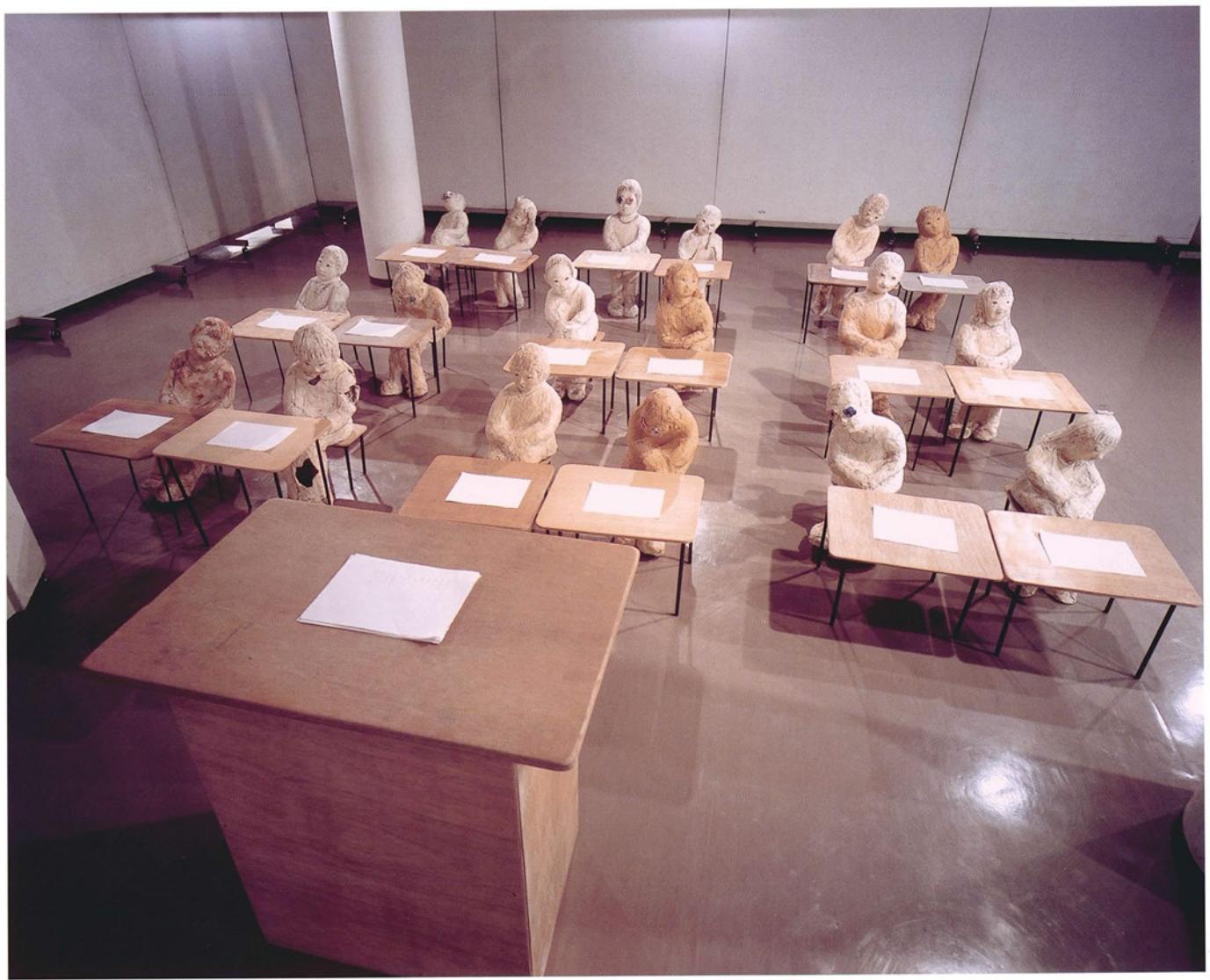
県立近代美術館賞：渡邊洋「雨あがりの住居」は知的ななかに、微妙な自然を見逃さない作家の眼を感じて心ひかれる作品である。

美術奨学会賞：村松俊夫「揺れる虚空・風花の輪舞」に新鮮味は感じられない。しかし確かな仕事振りに安定感を感じた。審査終了後に48歳ときいて成る程と思った。

はまぎん財団賞：渡辺幸子「過ぎ去りし日Ⅱ」は現代的と言えるかもしれないが、斬新さは感じられない。しかし落ち着いた色調、巧みな線描表現など好感の持てる作品である。なおこの賞は平面作品にのみ贈られる。

40回記念 岩崎学園賞：近藤宏治「ぶらさがる男」は審査員の選んだ受賞候補作品以外から岩崎学園側で選んだものである。今の若者を的確に捉えた表現力を評価したい。

（草薙奈津子）



大賞 ゆめのかず：坂本 友里

陶、鉄、木 幅400 ×奥行510 ×高さ85 cm

【略歴】

1980年 川崎市に生まれる
2001年 多摩美術大学工芸科入学

【個展】

2003年 猫の集会プロジェクト つきや酒店
【グループ展】

2002年 まるでお蔵入り ちめんかのや
2003年 ミクストメディア 多摩美術大学
千個蛤展 元麻布ギャラリー

【出品歴】

2002年 でざいんとあそぶおぞんのなつやすみ ガチャガチャストリート
リビングセンターOZONE
2003年 経堂CAT 経堂駅前商店街



準大賞 航海譚～ファンタム・ペイン氏の旅～：肥沼 守

フレスコ、テラコッタ粘土 162 × 194 cm

[略歴]

1968年 川崎市に生まれる

1991年 多摩美術大学卒業

1999年 多摩美術大学大学院修了

[個展]

1993年 銀座スルガ台画廊 '96-'98-'00 レスピワール展

2001年 フタバ画廊 '03

2002年 福原画廊 '03

[グループ展]

2000年 波の会 ギャラリー和田 ~'04

2001年 α展 日本橋三越 '02-'03

Groupe Jeune cheval 銀座スルガ台画廊

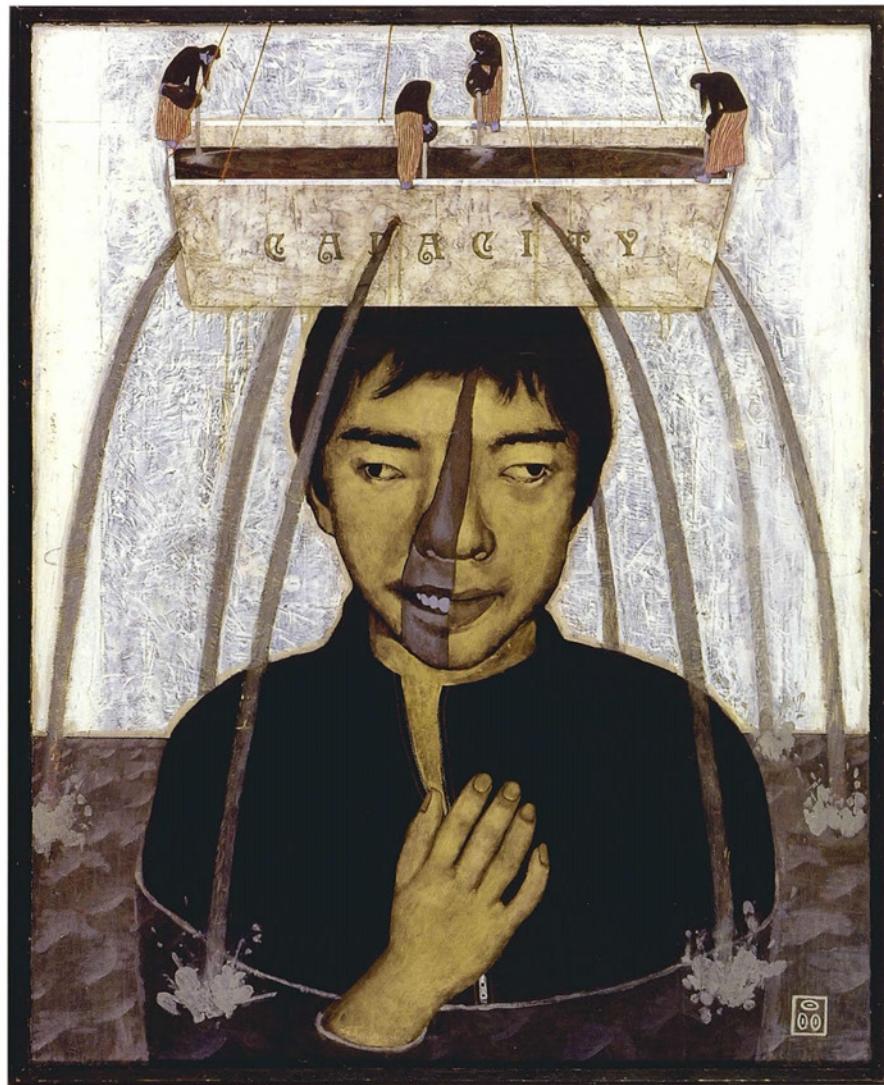
[出品歴]

1992年 国展出品 以後'96年を除く毎年出品、'00年国画賞、準会員推挙

1999年 ART BOX大賞展 ART BOXギャラリー賞

2000年 昭和会展招待出品 日動画廊 '01-'02

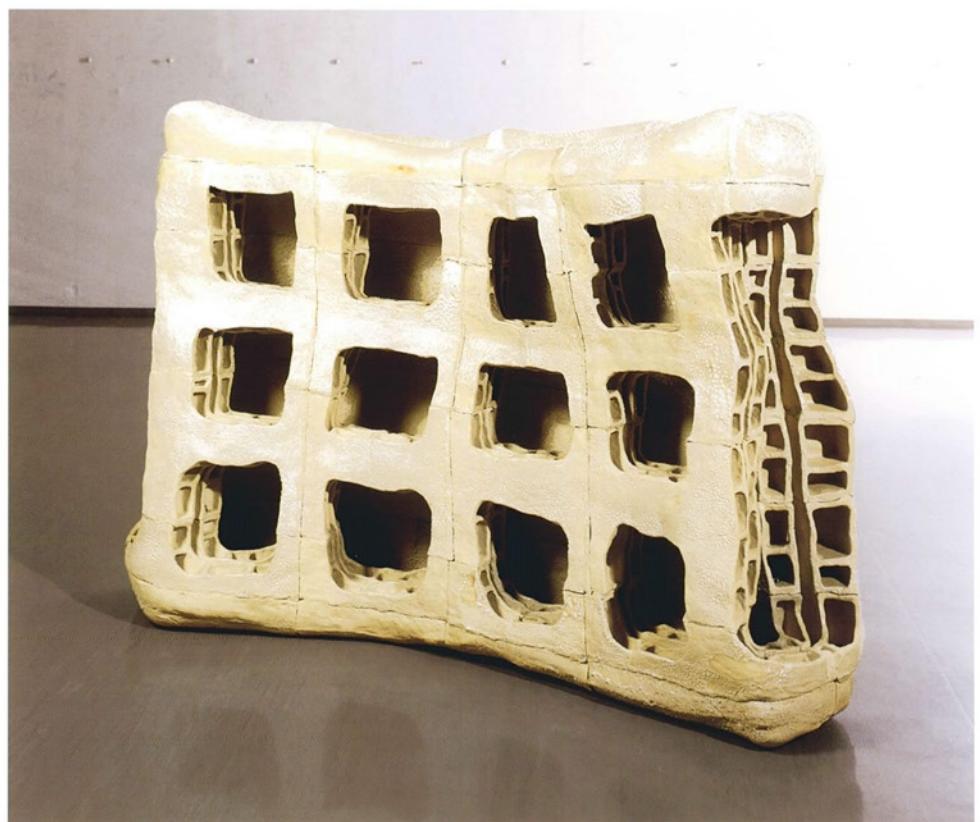
かわさき市美術展 最優秀賞・市長賞受賞



特選 欠陥の大器：大塚 晶



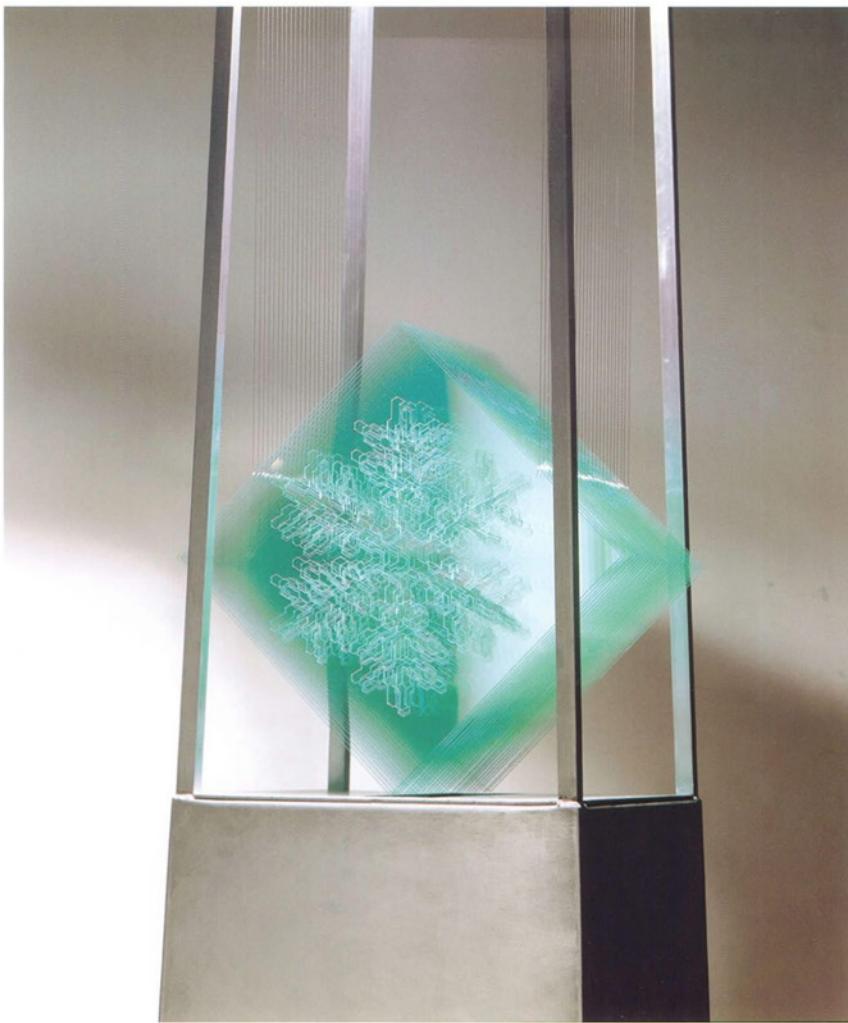
特選 記憶の地：齊藤 智史



特選
Untitled W04-001A7 : 藤井 志帆



県立近代美術館賞 雨あがりの住居：渡邊 洋



美術奨学会賞
揺れる虚空・風花の輪舞：村松 俊夫



はまぎん財団賞 過ぎ去りし日Ⅱ：渡辺 幸子



40回記念 岩崎学園賞
ぶらさがる男：近藤 宏治

II期展
|工芸・書・写真

受賞作品目録

工芸

大賞	大槻 洋介	横浜市	孔
準大賞	高橋 悟	横浜市	灰釉掛分組鉢
特選	徳川 浩	多治見市	黄瀬戸壺
特選	木澤 宏子	横浜市	蘇州の運河
特選	吉屋えい子	横浜市	天空
特選	五十嵐通代	大磯町	秋色
美術奨学会賞	山下 敦子	川崎市	樹木の精
美術奨学会賞	植松 次男	平塚市	かけがえのない大地
40回記念 シルク博物館賞	狩野サキエ	二宮町	みなも・ふゆ

書

大賞	古屋恵美子	横浜市	田部井花子の歌
準大賞	佐藤 柚処	横浜市	龔自珍詩
特選	佐藤 青香	横浜市	和泉式部集より
特選	中里 健哉	横浜市	杜甫詩 贈衛八処士
特選	水川 芳竹	綾瀬市	鐵腸
特選	東山 右徹	鎌倉市	杜牧詩
美術奨学会賞	浅間 静江	町田市	短歌二首
美術奨学会賞	小島 静翠	横浜市	百人一首抄
40回記念 神奈川県文具事務用品団体連合会賞	渋谷 庄江	相模原市	雨中過韶州 朱琳詩

写真

大賞	内藤 秀和	鎌倉市	沈黙の機関 (第五福竜丸エンジン) (4枚組)
準大賞	小島 満男	川崎市	棧橋寸景
特選	永田 光徳	川崎市	花摘む子ら
特選	古澤 誠一	横浜市	居る (2枚組)
特選	津田 祥夫	横浜市	お絵描きマシン
特選	石川 清	横浜市	優雅 (3枚組)
特選	高木満喜子	横浜市	響 (3枚組)
特選	田中 夏	横浜市	今をみつめて
美術奨学会賞	仲俣 勝子	川崎市	ファミリー
美術奨学会賞	小林 佻	三浦市	長閑な刻 (2枚組)
県議会議長賞	吉田 陽子	横浜市	ムルシ族の女 (エチオピア) (3枚組)
40回記念 ニコン賞	山下 茂治	横浜市	夏を呼ぶ I

※ 美術奨学会賞は、財団法人神奈川県美術奨学会から神奈川県美術展に出品した優秀な作家に給付される奨学金です。

※ 40回記念 シルク博物館賞は、財団法人シルクセンター国際貿易観光会館シルク博物館から神奈川県美術展の開催40回を記念して工芸部門の優秀な作家に贈られる賞です。

※ 40回記念 神奈川県文具事務用品団体連合会賞は、神奈川県文具事務用品団体連合会から神奈川県美術展の開催40回を記念して書部門の優秀な作家に贈られる賞です。

※ 40回記念 ニコン賞は、株式会社ニコンから神奈川県美術展の開催40回を記念して写真部門の優秀な作家に贈られる賞です。

※ 市町村名は現住所です。

入選作品目録

工芸

石成 富栄	泥彩練上方形花器
糸井惣四郎	縄文譜－縄文賛歌三耳壺
金子三女子	野草染 縦長五段引き ぶどう
小川 迪子	今を生きるB机
岡屋 郁子	灯・四季
岸川 誠利	水明子安の里
戸樋谷良充	風紋
久保寺春男	備前「壺」
須藤 義明	信楽叩き大壺
金子 明子	色紙入(羽衣)
川島 陽一	白泥象嵌壺
浅井 祥子	晩秋
木下 篤子	風に舞う
福本 義彦	焼締庸壺
鈴木 亘	練上壺
土屋 光男	四方壺「彩花」
西前 力	備前窯変花入
高橋 富子	お花見
岩谷しげ子	乙女椿
山崎 直子	魚文平鉢(5客組)
伊藤久仁子	敷物
鈴木 高伸	花の舞(大皿)
岩井 信行	萩焼(かいらぎ壺)
石川ヤイ子	春うららか
加藤 信幸	いのちの景色
宗像 昭	釉彩蝶文輪花平鉢
寺田 寿恵	磁器手びねり上絵紫式部 皿と組皿五枚
山下 龍二	縄胎朱塗食籠
香取 孝彦	小鐘「躍動」
天野 奈迦	波の遊び
今林三恵子	風のみち
増田かよ子	綽(シャク)
森 滋子	希
石澤 和幸	象嵌彩色円文組皿
尾形 光俊	練込八角鉢「彩り」
渡辺 和子	盾持人埴輪－月光に立つ－
鳥海 正次	備前流れごま四耳壺
砂田 紘子	台付三方花器

鈴木 隆	青瓷花器
梅田 千晶	層文漆革器
青木 邦子	岩井半四郎七変化
西山 義彦	輪花胴紐柳目鉢
小林 正光	指針
吉岡 未子	付けさげ「水色のワルツ」
釣 敬子	切子水指
佐々木正孝	蒼い器Ⅱ
安井 伸	銀香炉
大友 茂子	Rolling
曾根原 緑	絹緯紺織り布
小田中 藍	こ・だ・ま
小山 純子	萌希
森居留美子	かながわ 山
吉田 美杜	蒼
三上 光敏	備前絣襷花入
原田 克治	黒釉花火文花器
遠藤 寿子	耀
北垣 幾子	桜花
稻葉里き江	宙(スペース)
宮崎 純子	メディニラマグニフィカ
小柳 和子	鎮座
奥井 陽子	磁器手捺り銀彩染付ボピー 絵変り大皿、鉢、組皿
古郡 良秀	木の葉天目蓋5枚1組
山本 真郎	灰釉花器
岡崎まりこ	そらの階段
峯尾 直明	予感
郷田 和子	泥彩花文壺
坂本采季香	For Tomorrow
菅 剛	楽園
西山 武	淡緑色粒状斑文壺
花形 澄子	午睡
大原 乾資	中国綿布板締染
山本 朋子	メランコリア
尼子 裕美	暗闇に耳をますます
大久保静香	碧の静寂
山田 欽也	布目朝顔文鉢
夏井美智子	鉄釉組鉢“みんなでワイワイ”

岡田 光子	風の誘い
大丸 洋子	想起
井上さよこ	弾(はじく)
吉岡伊久代	大地
児島 勝美	想い
工藤俊太郎	備前壺
高橋 征子	彩釉陰刻紋扁壺
藤村 公子	悠久の想い
上原 圭子	between memory and reality
小野里澄人	盛器「宇宙の誕生」
伊藤 洋平	スツール
寺門 志郎	無題
松井 敏保	墨流し大皿
竹林 宏	懸け鏡 ぶどう文様
石井 雅之	備前紺襷広口花器
池田 節子	繫
寺本沙香江	古来夢
松岡 英恵	鉄釉掛分大鉢
木寺由布子	和らぎ
大野 恵一	陶器 紅彩釉 茶碗
山口 浩二	春の風
田中美智子	朱鷺の夢 No. II
水橋さおり	乱舞<蝶>
小野田圭美	祝福された聖母マリアへの賛美

書

松本 亘正	陶淵明詩
小野田倩泉	送杜少府之任蜀州
矢島 虹周	小倉百人一首より 和歌十三首
書川 昌子	白鳥はかなしからずや
山下 壽艸	万葉のうた
関野芙美子	春夏秋冬
池上 恵峰	古今和歌集
金澤 芝寶	虹
新谷 巖泉	山景色
加藤 心圓	額田王の歌
中村 霽澄	中務集
吉成 慶雅	小島切
中町 祥紀	杜甫詩 宣政殿退朝晚出左掖
吉村 祥貞	高適詩 送季少府貶峽中珍府貶長沙
菊池 祥賀	李頤詩 五首
弦間 秀僕	和歌八首
川手 敬湖	新古今和歌集より 五首
萩原 華徑	躬恒集
長谷川清邦	本阿弥切
深見 萌彩	雨登湖中閣眺望 他一首
新井 幸舟	澤畔
長谷川清陽	懷友
水川 小舟	帰園田居
茂木 花舟	和孫太守朝望登毗盧閣
寺門 楊舟	和昌黎秋懷詩
兎澤 羊舟	寄王處士遙蒼
青山 静月	去越州
齋藤 寿香	月夜遊秋水橋岸
吉田 恵苑	題沈秀君抱書図
柿沼 柏苑	送人南遊
二瓶 香苑	贈魏允枏
城崎 清麗	送陸五臺之任
奈良 静桜	桐盧道中書所見 其二
森 秀麗	渝州夜泊 渝州登忠山
池龜 蓮舟	過清平縣
露木 靜舟	送許竹隱之紹興二首
葛西 虛舟	舟中遺懷
上村 泊舟	遊洞庭 四首

吉永 幽徑	雜諷三首呈唐慧翁先生
吉川 理芳	崔二丈園亭
横山 聖水	紫菊吟寄林時嘉
葛西 梓舟	寄陸純孫
橋本 紫柳	與孫豹人周星公 往白鹿洞次迴流山
佐藤 清紫	醉後贈從甥高鎮
酒寄 妖舟	嘉陽登舟
荒川 凉舟	善才岫夜坐
宍戸 静黃	冬日還峴泉
小倉 清舟	九日王秀才攜酒至
中山 壽香	旅次武林期叔剛修撰不至
松田 栖舟	晚入通海
鶴岡 慎舟	留連山間迨暮始返棹
向後 瑛舟	賦得浣紗石
古橋 絵里	王漁洋 二首
宮崎 菲瑤	鄭審詩
上永 青圓	古今和歌集より
筒井 節子	山家集より
井上 澄江	古今和歌集より
伊藤 青光	古今和歌集より
吉田 青粋	山家集より
今村 南茅	詩經の一節
四季 茜歩	對馭盤
小山 翠謡	蘇東坡詩
矢野 龍谷	祝婚歌
金子 律秋	芭蕉の句
菅原 象雲	箱根八里
明石 清子	小島切
宮川 昌翠	木簡 そのI そのII
麻生 苓翠	万葉集より 和歌一首
幡野 恵子	世の中は・・・
青野 有美	百人一首より
片山 静苑	高啓詩
黒川 榮琴	杜甫詩 三首
登坂 天夢	陶潛詩 移居
新井 青谿	白樂天詩 香爐峯下新卜山居草堂初成偶題東壁
鎌野 瑞杜	高き山
松永 光鳳	三十六歌仙より

宮地 晶子	坂村真民詩 脱落
大木 明子	見付拓の詩
中山 政子	伊藤美津世の歌
森谷 新菜	茶香の充を(自作)
竹内千恵子	田部井花子の歌
青木 湘堂	姉のくさめ
平出 節子	田部井花子の歌
松田 紀子	高野公彦のうた
堤 智子	見付拓の詩 龍門像への旅
小林 千幸	水のゆくえ
指旗 登美	加藤三七子の句
杉森 伯泉	静かなる不安
相馬 澄月	北原白秋の詩
馬場 虹苑	西條八十の詩 竜胆
廣川 心齋	短歌・島木赤彦のうた
上野 春海	今川正樹の詩 秋の終わり
福本 泰子	尾崎左永子の歌
山本 枝折	秋の感傷
笠沼 積子	校歌
久村 拓司	三浦綾子の小説 果て遠き丘より
太田 鶩秀	木阿弥切
高沢 幸子	泰山木
大泉 菊江	雨あと
塩澤 鶯州	春たてば
楠井 杏花	空水閣
日吉 青溟	漢詩
池田 莊春	西樓晚眺
石関 崔麗	漢詩王達詩 山水
鈴木 静耕	重經昭陵
神藤 莊松	明詩 周立詩
木下 滔泉	送王景方歸杭州
鈴木 天鳴	秋日江館寫懷
小山 莊雪	蜀相
門倉 松扇	漢詩 脩竹塢訪蕭隱士
武田 瞳処	題曾郁文所藏山水小景
友部 静処	杜甫詩
楨 緋呂	李嘉祐詩
高橋 千春	高翥

写真

田村 京子	陸放翁詩
金子佳世子	宮城谷昌光の文
神山 紅雲	白楽天詩
小林 堯靄	蘇軾詩
村上 湖翠	白楽天詩
浅見 玲湖	王維詩
庵 蒼淵	尤珍詩 東軒遺興
佐々 蒼江	藤州江上夜起對月邵道士 一首
小原 蒼竹	徐北郭詩
添田 紫苑	高青邱詩
下門 芳子	血染めのラッパ
飯田 容風	くれなみ
横山 翠扇	美しい宵
阿部 馨月	花の香
市川 春聰	秋の日
成田 紫鸞	月
米澤 千松	みちとせに
川神 寛子	久方の
水田 友理	あまつかぜ
長野 菁渓	陳汝言詩
中村 晓雲	吳蘭雪詩
浅岡 菖達	王恭詩
藤野 菁浦	王漁洋詩
森廣 青寿	青空の
井澤 洋高	渭川田家
菊島 右雪	杜牧詩
松尾 右翠	李白詩
菱田 右紫	杜甫詩
杉浦 右花	常建詩
鈴木 青秀	王維詩
池田 青柳	王昌齡詩
和田 静月	孟浩然詩 夜歸鹿門歌

市川 綏	おっ、イカスゼ
米山 悅朗	果物市場
鈴木喜久郎	佃・春の日差し
山口 昌明	川霧光る
庄司 精一	渚の会話
吉田 晴彦	至福の一刻
青木 静子	男の花道(3枚組)
佐藤 榮彦	風雪
高橋 好信	激流に挑む
南 信一郎	体育祭
池田 満邦	崩落の刻(1)(2)(3) (3枚組)
奥田 恭子	雨のチャイナタウン (4枚組)
笹尾 敏子	草原の勇者
野口 寛徳	春のほほえみ
石川 和史	愛
新井 弘文	ジャンプ
市川 正	白の残像 (2枚組)
渡辺 富司	壯観な棚田 (3枚組)
長澤 治代	光降る
高野 好旦	リオのいちばん熱い夜 (3枚組)
栗栖佐保子	風雪
南 幸子	冬の訪れ
稻葉 幸恵	行きずりの美女二人
上原 勝夫	三千年を生きる
砂金 賢司	初雪の夜に～カシオペヤ座は流れゆく
古澤 直代	昔のこと 雲
佐野 雅子	若者の夜(1)(2) (2枚組)
落合 知子	赤いオブジェ
江原 良	春暁
大友 洋子	想い出
服部 光春	まだまだ！青春
有賀 由一	クリスタルフロー (3枚組)
今野 良一	リズムに乗って
加藤 武	朝焼け
金子 直人	大地の鼓動 (4枚組)
鈴木 安広	冬の紋章
中島 倍三	穏やかな日日 (2枚組)
入江 成嘉	路上での憩

島野 梢子	もーいーかい
松本 雪夫	夕影(ゆうかげ)
新野 恵司	ソロ
伊東 康廣	櫻幻想(4枚組)
小倉 直美	家族
安藤三希子	白バラ咲く
渡辺 優子	戯れ
大出 光信	エピソード イン ニューヨーク(5枚組)
佐々木節子	夕映え
北原 實	頂上現象
福田 幸子	女瞳私(薔薇と浮世絵)(2枚組)
大森 知子	ゆらめく
佐野しゅんじ	叫び(4枚組)
大嶋 幸光	DANCING
斎藤ふさ子	窓に写った映像(2枚組)
金親 敏雄	刻の記憶(3枚組)
中山 亨	華麗(A)(2枚組)
大畠 礼	首都変容(A)(B)(C)(3枚組)
桐畠 政義	ボク達の時間(5枚組)
泉 洋二	水辺の華
宮坂 駿一	里(3枚組)
中山 正	暁の人文字
脇本 叔子	氷華
長谷川雄二	五彩池(中国黄竜)(3枚組)
三崎 陽久	なかよし
市川 哲男	孤影(3枚組)
武山 敬子	パタゴニア・マーブル(3枚組)
新野富美子	光の階段
荻野 高秋	花と語るA, B, C(3枚組)
三上 光敏	仁王(3枚組)
安藤 肇	Long-Neckの美人達(3枚組)
立田 幸生	恋ごころ(3枚組)
保田 繁子	ひととき
高橋 洋子	竹格子の道
安藤 行宏	ガーデン(イスラエル)1, 2, 3(3枚組)
石田 茂	夕暮れの藤塚
西尾 紗子	紅葉狩り
茂木 晃	オブジェになった若者

臼井 孝	ちやっkiraco(三浦三崎)(3枚組)
高山 健二	嫁入り舟
鈴木 康代	枯れたひまわり

審査講評

工芸

大賞に高額の賞金で海外研修というセンセーショナルにスタートした神奈川県美術展は今年40回展を迎えた。多くの情熱に支えられてのことであろう。そして依然その関心は高く、工芸の出品数245点と昨年を上回った。

審査は出品者の苦労をおもい慎重、丁寧にすすめた。授賞選考は各審査員が推薦した30点ほどを一堂に並べ、じっくり見つめ、とことん議論した。結果、支持の多かった順に上位から賞がつけられていった。

大賞：大槻洋介「孔」。ガラス、素直で伸びやかなフォルムと色彩。明りが灯り相乗効果で一層爽やかな好感を与えた。この暑い時季に共感を覚えたか。やや軽い。

準大賞：高橋悟「灰釉掛分組鉢」。陶器、成型の手ざわ、形体、色合いとも破綻なくまとまり、実に安心してみられる。手だれの作品とみる。

特選：徳川浩「黄瀬戸壺」。陶器、奇異やてらいのない形と色から豊饒でほのぼのと幸せにしてくれる作品である。

特選：木澤宏子「蘇州の運河」。染色、枯淡の風情、品性も好ましい。辞書でみた織巧＝細工が巧みな様子という語句におもいいたる。

特選：吉屋えい子「天空」。陶器、こまごました技術に縛られない、おおらかな造型は柔らか頭脳が産み出す天性のものだろう。何か不思議の世界へ誘う。

特選：五十嵐通代「秋色」。染色、じつに巧緻、見事な構成である。織りなす糸の粗密で醸しだす空間の表現や季節感あふれる色彩など、いきとどいた神経には感心させられる。

美術奨学会賞：山下敦子「樹木の精」。人形、15回も入選のベテランとか、挑戦しつづける熱意と真摯な取り組みがやっと実った。それなりの姿を表現できた。

美術奨学会賞：植松次男「かけがえのない大地」。竹工、竹を巧みな技を駆使した大作で個性的な形体はまことにユニークで楽しめる。些細だが照明は青色ではなく暖色系がふさわしいかも。

40回記念 シルク博物館賞：狩野サキエ「みなも・ふゆ」。染織、正統的で風格のある佳作。色彩り、風合とも好ましく、春を待つ息吹を内包する。

この他に惜しくも受賞を逃した作品もあった。さらなる精進を期待したい。

着物、七宝、金工が少なかった。また、いつもは審査会場に入ると強烈なオーラを発し訴えてくる作品があるものだが、今回は乏しかった。一方、昨年、一昨年の受賞者が引き続き制作、出品。さらに進化して存在感があった。

(永井鐵太郎)

書

神奈川県美術展は、今年、第40回展という節目の年を迎えたわけだが、書部門の応募総数は262点で前年比で14点の伸びにとどまっている。他部門の情報は得ていないが、全国有数の書道人口を有しているとされている神奈川県としてはまだ少なすぎるといえるのではないだろうか。

それはともかく、まず今回出品作品全体を一覧して気付いた点にふれておきたい。その第1点はいわゆる大字書、前衛書と篆刻、刻字（迂闊にもその後気付いたことだが、後者の2ジャンルは出品を認めていない）の作品がほとんどみられなかっこと。第2点は最近の総合書道展ではむしろ漸減傾向にある長條幅（2尺×8尺）の作品が意外に多かったことである。

つまり今回の出品は漢字とかなの古典による作品と近代詩文書の3部門に限られ、しかも長條幅の作品が多かったということである。とはいっても各部門とも長條幅という作品の大きさを充分に活かした作品の多かったことも事実である。しかし、総合展としてみた場合、出品作品の傾向が偏っているという印象はまぬがれなかった。今後は、より多様な現代の書をとりこんだ総合展へと発展していくことを期待しておきたい。

次に、審査について、今回の審査は仙場右羊（審査委員長）を中心に7名の審査員によって行われた。まず、応募作品毎に、審査員それぞれが1から5の評価数を掲示し投票した。19票以上を入選候補（161点）、21票以上を賞候補（57点）とした。前年度の受賞者の作品は、無鑑査とする慣例に従った。1次審査で入選のボーダー・ライン（19票）にあった27点を再審査し6点を選外とし入選を155点とした。さらに賞候補25作品について9作品推挙を限度とする投票により16作品に絞った。その中から各審査員が2作品投票により大賞1名、準大賞1名を決定した。特選4名、美術奨学会賞2名、40回記念神奈川県文具事務用品団体連合会賞1名は、賞候補選出の際

の得票を踏まえて協議のうえ決定した。今回は、前年の受賞作家は無鑑査という特例が認められたが、わたくし個人の意見としては、他の部門（平面立体ほか）との整合性を図る上からも今後は廃止すべきだと思う。

最後になったが受賞作品にふれておこう。

大賞の古屋恵美子は書燈社所属の新進。今回の「田部井花子の歌」は縦長の長條幅の空間を充分に活かしきった作品で漢字とかなの表現に一貫性があり、字間の設定も適切で読みやすく明解な現代の書表現になっていた。準大賞の佐藤柚処の「瓣自珍詩」は長條幅を横に使い上下の狭い空間に漢字を嵌入させそれを反復し緊迫感をつくりだすことに成功している。特選を受賞した4点のうち、水川文弘の「鐵腸」は今回の出品にはこれに類した作品がほとんどなく最初から注目された。墨跡のもつ厳しさと激しさにも一脈通じる趣のあるダイナミックで若々しい作品。美術奨学会賞2点のうち、浅間静江の「短歌二首」は大字かなを横長という制限された空間に解き放ち独自の流動感の表出に成功した作品といえよう。

(生尾慶太郎)

写真

第40回県展の出品状況を数字的にみると、出品者数282名、出品点数938点。昨年に比べると、39点の出品点数の増加があったものの出品者は同数。5年前の数値と比較すると出品者数で約100名、出品作品で357点と大巾な伸びといえる。最近の1、2年は出品者の増加に比して、出品数の増加幅が大きいのは、組写真形式の作品が多くなってきてることを物語っている。しかし、現時点での出品者282名という数字は、県内の写真愛好者の数に比して、あまりにも少ない。今後の広報活動等のさらなる検討が待たれる。県展は、広く、多くの県民が参加する芸術祭であることが望まれているイベントである。多くの同好の士へ声を掛けていただくようにお願いしたい。

さて、今年の出品作品の内容だが、例年に類似しており、特異な変化はみられなかった。前述の通り、組写真が増えたが、表現内容は近年増加し続けている自然詠的な風景写真、次に祭り、イベントものなどで大半を占めている。もう少し、身近で日常生活、仕事、家族などを対象とする作品を望みたいところである。

大賞：内藤秀和「沈黙の機關（第五福竜丸エンジン）」（4枚組）。今年、第五福竜丸被爆50周年にあたり、夢の島の展示館では、いくつかの企画が催されていると聞く。作者も足を運んだ一人であったのか。エンジンの一部をクローズアップによる抽象化で、“時間”を封印することに成功している。左端が他の3枚と距離が大きく異なるのは、問題を残す。同質の部位だがディテールのわずかな違いを読み込ませることで別の部位であることを知覚させるよう組んだ方が、さらに完成度が上ったであろう。

準大賞：小島満男「棧橋寸景」（単写真）。雨に煙る大棧橋。雨雲がランドマークタワーにまで垂れ下がって、暗くもの悲しいイメージは見事である。赤い女性の図形がそんな心の闇に明りを灯すような効果となっている。

特選：永田光徳「花摘む子ら」（単写真）。踊るような身振り、花をみつめる四人四様の表情をシャッターチャンスに賭けた集中力が表情をよくとらえている。

特選：古澤誠一「居る」（2枚組）。硬いライティングによってジーンズの質感をとらえて衣飾をモノ化している。さらにわずかに写し込まれた手が生身までもモノ化して死体へと昇華している。力量は確かだ。

特選：津田祥夫「お絵描きマシン」（単写真）。身体の動きに連動して、電気光線が変化する装置で遊んでいるようだ。子供たちの置かれている現在の生活空間を暗示するイメージにまで達している。

特選：石川清「優雅」（3枚組）。古代衣飾のかたちに潜むあやしさがよく引き出されている。

特選：高木満喜子「響」（3枚組）。花火のかたちは、花に擬してあることが多いが、それらを重ね合わそうとした発想がユニーク。生花も花火のようにブレなどの揺らぎがあった方がイメージはよく重なったであろう。

特選：田中夏「今をみつめて」（単写真）。ケイタイでの写真は、新しい風俗である。それはまた新しい人と人の関係性を生み出してきている。楽しげなデートの背後に、そんな時代が表現されている。

その他の賞については省略させていただく。来年もまた今年以上に多くの方の応募を期待したい。

(土田ヒロミ)



大賞 孔：大槻 洋介

ガラス 径19 高さ63cm 径23 高さ53cm

[略歴]

1972年 横浜市に生れる

1997年 多摩美術大学立体デザイン科クラフトデザイン専修
ガラスコース卒業

1997～2001年 新島ガラスアートセンター勤務

2002年～ 女子美術大学工芸学科ガラスコース非常勤講師

[個展]

2003年 －Aqua－ AC.GALLERY

あかりと器 ぎゃるりーげん

2004年 －ひかり－ AYUMI GALLERY

[グループ展]

2004年 机上空間のためのオブジェ展 NIKI GALLERY 冊

[出品歴]

1998年 第34回神奈川県美術展 入選（以後4回入選）

1999年 第17回朝日現代クラフト展 入選（以後2回入選）

99世界工芸コンペティション・金沢 入選

2000年 ピアマグランカイ3 作家奨励賞

2000日本クラフト展 入選（以後2回入選）

2001年 第3回現代ガラスの美展IN薩摩 入選（第4回入選）

2004年 かわさき現代ガラス作品展 入選

現代ガラス展inおのだ 入選



準大賞 灰釉掛分組鉢：高橋 悟

陶 大 径34 高さ11cm
中 径27 高さ8cm
小 径17 高さ6cm

【略歴】

1947年 逗子市に生まれる
1985年 横浜陶芸学園に学ぶ
1992年 伊豆松崎に共同で築窯

2001年 横浜市磯子区に築窯
【グループ展】
1996年 県民ホールギャラリー
1998年 ひまわりの郷ギャラリー



特選 黄瀬戸壺：徳川 浩



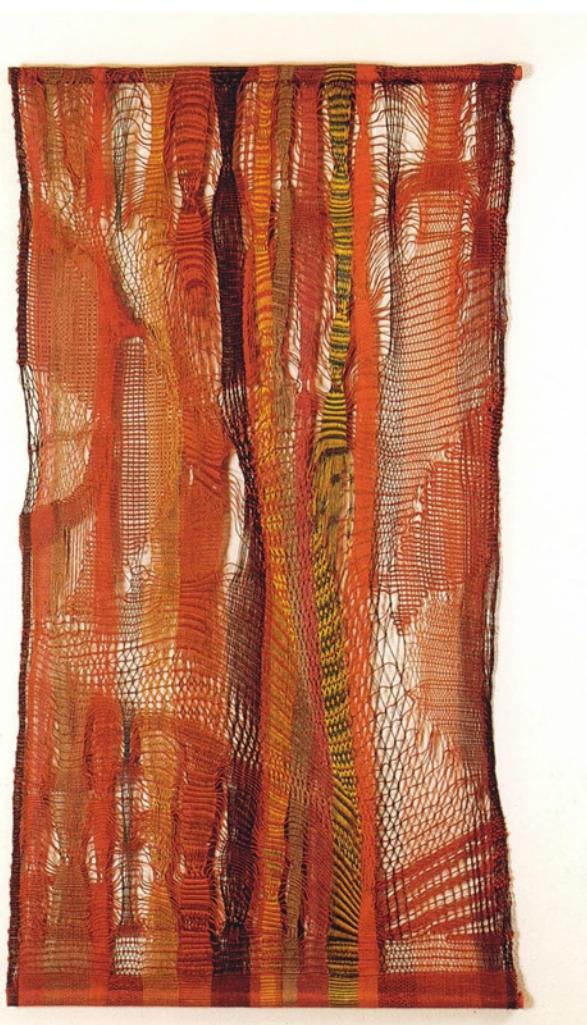
特選 蘇州の運河：木澤 宏子





特選

天空：吉屋 えい子



特選

秋色：五十嵐 通代



美術奨学会賞 樹木の精：山下 敦子



美術奨学会賞 かけがえのない大地：植松 次男



40回記念 シルク博物館賞 みなも・ふゆ：狩野 サキエ



大賞

田部井花子の歌：古屋 恵美子

240 × 60 cm

[略歴]

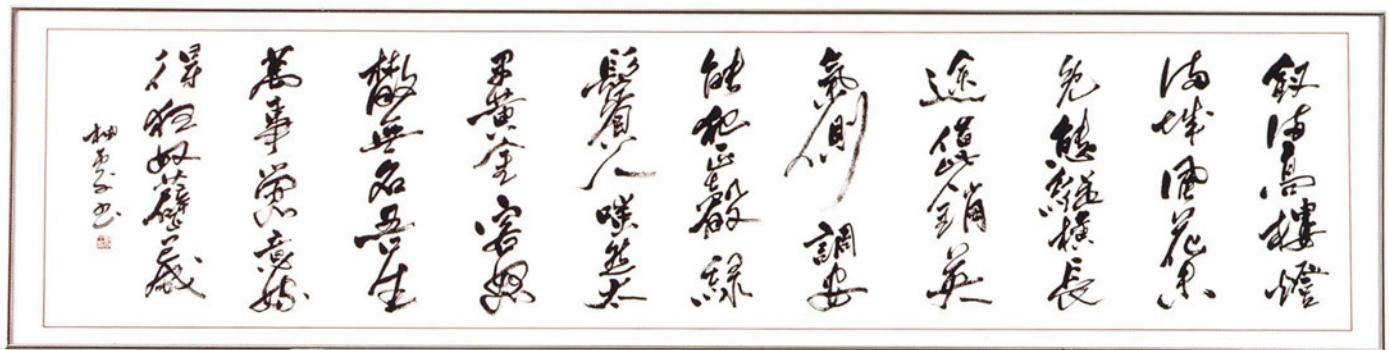
1971年 横浜市に生まれる

船本芳雲に師事

2002年 高野山競書大会 金剛峯寺賞受賞

2003年 毎日書道展 秀作賞受賞

2004年 每日書道展 毎日賞受賞



準大賞 龔自珍詩：佐藤 榆初

60 × 240 cm

[略歴]

1947年 千葉県に生まれる

吉田蘭處に師事

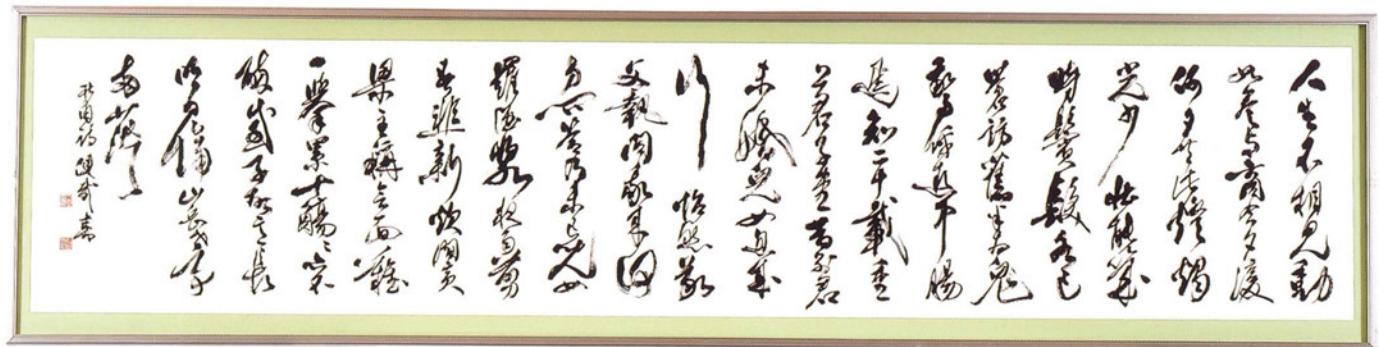
読壳書法会幹事

謙慎書道会理事

神奈川書家クラブ会員



特選 和泉式部集より：佐藤 青香



特選 杜甫詩 贈衛八處士：中里 健哉



特選 鐵腸：水川 芳竹



特選
杜牧詩：東山 右微



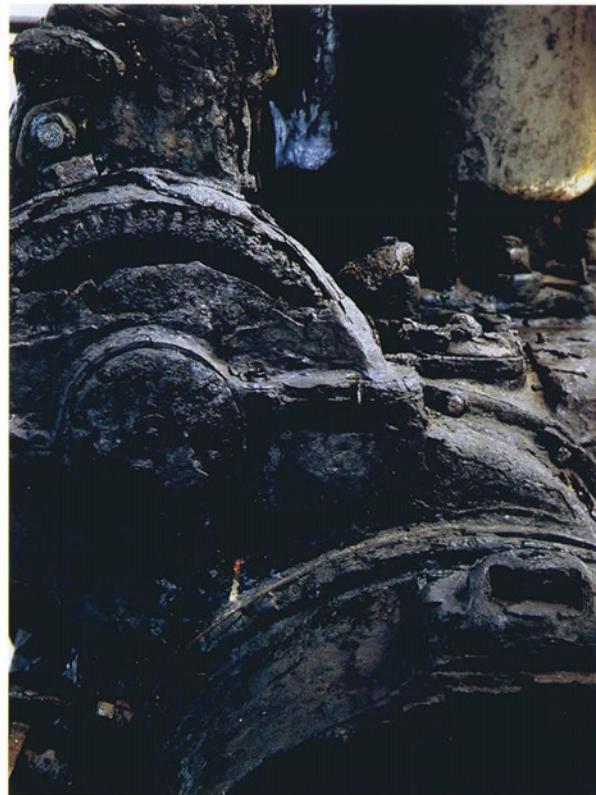
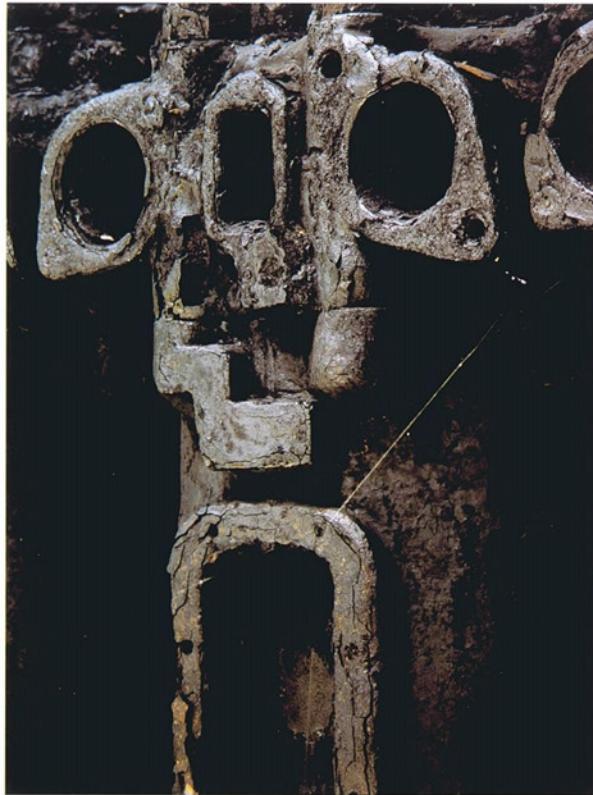
美術獎学会賞 短歌二首：浅間 静江



美術獎学会賞 百人一首抄：小島 静翠



40回記念 神奈川県文具事務用品団体連合会賞
雨中過韶州 朱琳詩：渋谷 莊江



大賞 沈黙の機関(第五福竜丸エンジン)(4枚組)：内藤 秀和

[略歴]

1955年 名古屋市に生まれる
1980年 東京造形大学デザイン学科映像専攻卒業
2003年 第39回神奈川県美術展 特選



準大賞 構橋寸景：小島 満男

[略歴]

1936年 新潟県に生まれる
1990年 定年後の楽しみとして写真を始める
1998年 全日本写真連盟多摩支部に入会
2000年 34回川崎市民美術展 奨励賞



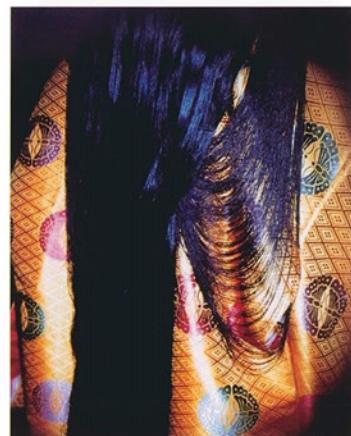
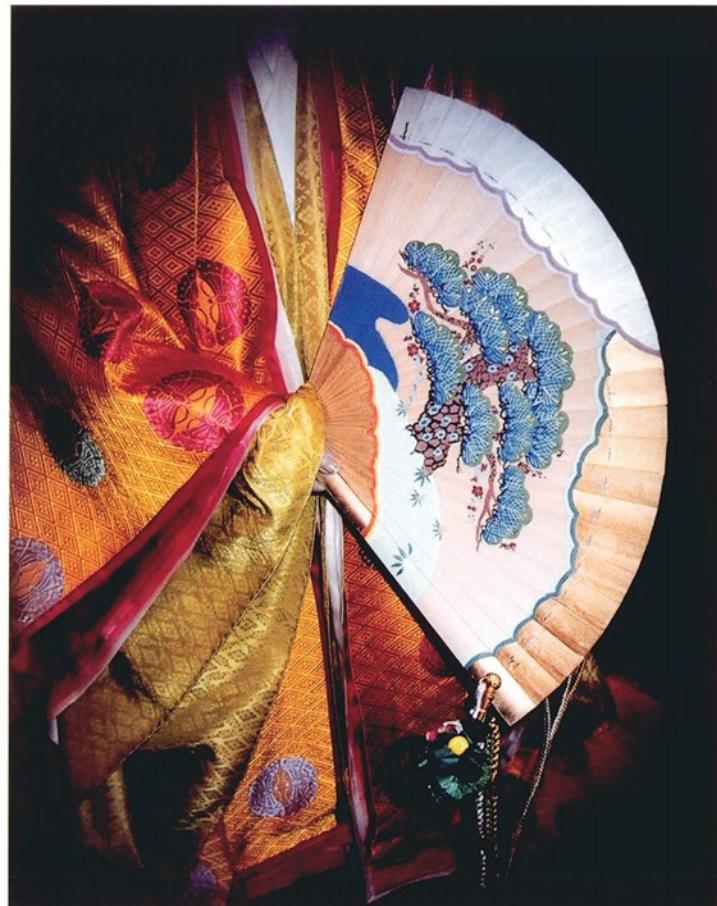
特選
花摘む子ら：永田 光徳



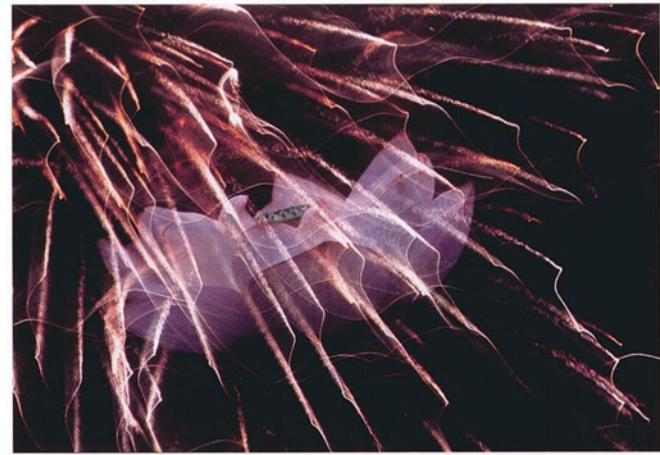
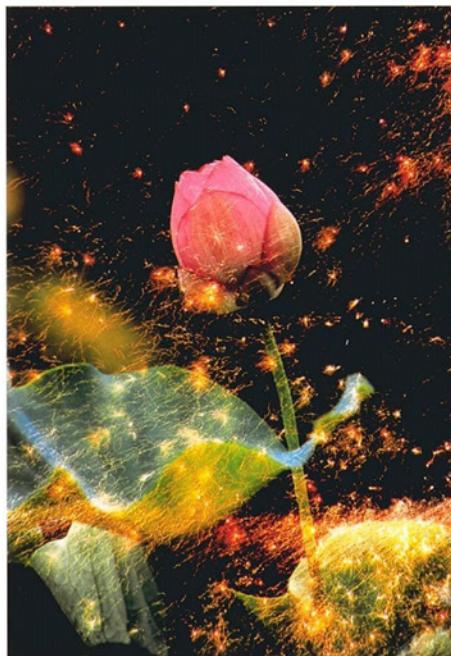
特選
居る(2枚組)：古澤 誠一



特選 お絵描きマシン：津田 祥夫



特選 優雅(3枚組)：石川 清



特選 韶（3枚組）：高木満喜子



特選 今をみつめて：田中 夏



美術奨学会賞 ファミリー：仲俣 勝子



美術奨学会賞 長閑な刻(2枚組)：小林 优



県議会議長賞
ムルシ族の女(エチオピア)(3枚組)：吉田 陽子



40回記念 ニコン賞 夏を呼ぶⅠ：山下 茂治

市町村別出品者一覧

	平面	立体	工芸	書	写真	合計
横浜市	98	12	87	140	188	525
川崎市	23	2	14	12	20	71
横須賀市	12	2	7	14	9	44
藤沢市	11	3	7	11	9	41
茅ヶ崎市	8		4	4	4	20
平塚市	3		6	4	4	17
鎌倉市	17	1	8	13	10	49
逗子市	1	1	4	3	1	10
三浦市					3	3
相模原市	25	6	10	19	5	65
厚木市	7		5	3	3	18
大和市	8	1	4	3	5	21
伊勢原市	1		2	3	1	7
秦野市	1		1	3	1	6
座間市	4		4	2	3	13
海老名市	2		1	3	3	9
綾瀬市	2			2	3	7
小田原市	4		9	4	3	20
南足柄市				1		1
葉山町	1		1	1	3	6
寒川町			4		1	5
大磯町	2		1	4		7
二宮町	1		2	1	1	5
中井町						
大井町			1			1
松田町						
山北町						
開成町			1		1	2
箱根町				1		1
真鶴町	1					1
湯河原町				2	1	3
愛川町			1			1
城山町						
津久井町						
相模湖町						
藤野町			1			1
清川村						
県内計	231	29	185	253	282	980
東京都	14	2	5	7	0	28
その他都道府県	4	1	3	2	0	10
県外計	18	3	8	9	0	38
合計	249	32	193	262	282	1018

市町村別入選者一覧

	平面	立体	工芸	書	写真	合計
横浜市	36	6	49	77	62	230
川崎市	4	1	9	5	9	28
横須賀市	3	1	5	9	1	19
藤沢市	2	2	3	7		14
茅ヶ崎市	3		2	4		9
平塚市	2		3	1	3	9
鎌倉市	7	1	4	10	3	25
逗子市	1	1	2	2		6
三浦市					1	1
相模原市	7	3	6	13	3	32
厚木市	2		4	2		8
大和市	4	1	2	2	1	10
伊勢原市				1	2	4
秦野市				1	3	5
座間市	2		2	1		5
海老名市	2		1	3	2	8
綾瀬市	1			2	1	4
小田原市				6	2	1
南足柄市						9
葉山町	1					2
寒川町				2		2
大磯町	2		1	1		4
二宮町				2	1	3
中井町						
大井町						
松田町						
山北町						
開成町						
箱根町						
真鶴町						
湯河原町					2	2
愛川町						
城山町						
津久井町						
相模湖町						
藤野町						
清川村						
県内計	79	16	105	149	91	440
東京都	9	1	2	4	0	16
その他都道府県	3	0	2	2	0	7
県外計	12	1	4	6	0	23
合計	91	17	109	155	91	463

出品点数一覧表

	平面	立体	小計	工芸	書	写真	小計	合計
人数	249人 (91)	32人 (17)	281人 (108)	193人 (109)	262人 (155)	282人 (91)	737人 (355)	1018人 (463)
点数	403点 (91)	35点 (17)	438点 (108)	245点 (109)	262点 (155)	938点 (162)	1445点 (426)	1883点 (534)

※()内は入選者数と入選点数

大賞受賞者

第1回 昭和40年度 大森 運夫『九十九里』日本画	第25回 平成元年度 セツ・スズキ『アンタニハワカルメ』彫刻 片岡 順一『大気現象』写真
第2回 41年度 廣瀬 義男『作品I』洋画	第26回 2年度 山本 靖久『時の化石—豊沃のかたち』洋画 高橋あづま『遙かなる亜熱帯』工芸
第3回 41年度 堀内 治雄『坐る』彫刻	第27回 3年度 荒井 正美『蟻の迷走』彫刻 相沢 順一『樹界』写真
第4回 43年度 川村 直子『'69-A・'69-B』洋画	第28回 4年度 たべけんぞう『MAGNETIC FIELD92-2』立体造形 中森 万象『郎士元詩』書
第5回 44年度 山井イク夫『Laby70-1・2』立体造形	第29回 5年度 王 青『チベットの娘』日本画 平野 朱美『電解ザウルス』工芸
第6回 45年度 伊藤 杉『天涯巡礼』日本画 大久保利圏『Straw』工芸 西川 万象『盧子諒詩』書 加賀谷武男『にっぽんNONSENSE ZONE』写真	第30回 6年度 辻 忍『野辺』彫刻・立体造形 八木 香葉『笹澤美明詩 菊』書
第7回 46年度 中西新太郎『落日』洋画 島津 碧嵐『寒山詩』書 大谷 正夫『師ミス・サンダー(フェリス女学院)』写真	第31回 7年度 R 津田『封印—過去と未来—』彫刻・立体造形 中田 文『阿弥陀堂釜』工芸
第8回 47年度 佐々木英夫『人間の風景1・2』版画 林 良達『騎士』工芸	第32回 8年度 結城 勉『個々の領域—群像I』平面・立体 今井今日子『Twilight—黄昏—』工芸 中西 雅舟『百人一首より』書 中谷 晴男『山の民(ネバール)』写真
第9回 48年度 河原 明『蜻蛉』彫刻 石川 充宏『Girl in chair』工芸	第33回 9年度 鞘持 啓子『SANAGI—予兆』平面・立体 村田 則子『レクイエム』工芸 島田 幸舟『白鳥』書 渡部 満『1.8朝』写真
第10回 49年度 大山 鎮『語り』日本画	第34回 10年度 笹井 弘『動物植物』平面立体 堀口 成依『MI! きみ想う』工芸 大岸 昌子『源氏物語』書 君塚 宣良『還暦を迎える階段』写真
第11回 50年度 鎌田 恵子『Lost my way』工芸	第35回 11年度 川田 祐子『BIO-PANORAMA』平面立体 斎藤 龍也『白化粧象嵌花器』工芸 稻葉 竹苑『観雨』書 林 京子『午後の街』写真
第12回 51年度 泉谷 淑夫『愁傷のモニュメント』洋画	第36回 12年度 川城 夏未『BALANCE 2000 No.1』平面立体 『BALANCE 2000 No.2』 深瀬知嘉子『陰翳』工芸 松原 隆『白の風景』書 吉田 陽子『最後の楽園(ガラバゴス)』写真
第13回 52年度 井上 麦『黒の女-'77』彫刻	第37回 13年度 小林 秀幹『静かな流れの中で』平面立体 羽鳥 恵子『彩泥象嵌鉢』工芸 和田 清泉『花にのる』書 福田 幸子『女隠私1.2.3.(NUDE)』写真
第14回 53年度 坂田 一之『MIRROR』立体造形	第38回 14年度 高梨 裕理『水面』平面立体 三輪 博子『河』工芸 柄木 郁子『田中冬二の詩』書 嶋岸 良太『far away—いつか置いてきたもの—I~V』写真
第15回 54年度 前本 利彦『暗い部屋 I, II』日本画 川口 流坡『菅原道真詩』書	第39回 15年度 井上 達也『植勢II』平面立体 小田中 藍『「おやすみ」とは言っても…』工芸 幡野 恵子『論語』書 金親 敏雄『都市幻影』写真
第16回 55年度 和久井Who『HANGING』立体造形 市原 欣一『ふるさと』写真	第40回 16年度 坂本 友里『ゆめのかず』平面立体 大根 洋介『孔』工芸 古屋惠美子『田部井花子の歌』書 内藤 秀和『沈黙の機関(第五福竜丸エンジン)』写真
第17回 56年度 坂井 彰夫『SEISHO』彫刻 高木 参平『BODY』工芸	
第18回 57年度 小泉 正彦『冬の木』洋画 井上 隆敏『イグナドバ選手』写真	
第19回 58年度 井上 麦『土の系譜』彫刻 茶木 静谷『竹囲松影』書	
第20回 59年度 東谷 武実『日蝕F』版画 西 雅秋『CASTING VIEWPOINT』野外彫刻 林 亘『クリスタル大鉢“洞”』工芸	
第21回 60年度 鶴見 厚子『夢の質感』洋画 石渡 四郎『硫黄島の再会』写真	
第22回 61年度 会田富二男『駆けゆく母子像』彫刻 浜本 卿舟『良寛詩』書	
第23回 62年度 高橋 洋子『WAVE (BLUE FENCE)』立体造形 森山 可余『俳句(原石鼎)』書	
第24回 63年度 三枝 孝司『複製された場所』版画 菅間ゆみい『夢印象』工芸	

もっと近くに、ずっと一緒に。

Ladies' Fashion

アリス (レディスファッショն)
ギブ (レディスファッショն)
コレクションズS (レディスファッショն)
コラボマ (古着ショップ)
コレクションハウス (ヤングカジュアル)
サントレ (レディスファッショն)
ジパング (レディスファッショն)
スパイズ (カジュアルファッショն)
ハートフル (レディスファッショն)
ピノン (レディスファッショն)
ブラックキャット (レディスファッショն)
ブルーム (レディスファッショն)
リタコレジオ (レディスファッショն)
ロブ (ブラウスショップ)

Goods

銀座亞紀枝 藍の店 (刺し子)
ウインク (アクセサリー雑貨)
ウォークオーバー (携帯電話)
ザクザク (ファブリックショップ)
ザ・ベイスターズ (キャラクターグッズ)
シーズ (ハウス雑貨)
ストロベリードラッグス (ドラッグ&コスメティックス)
高正パピエ (ランジェリーショップ)
青山 花 茂 (フラワーハウス)
100円プラザダイソー (100円ショップ)
ベル・ビジュ (ジュエリー)
芳林堂書店 (ブックス)
銀座ホワイティ (香水専科)
ミュゼ 21 (バラエティ雑貨)
ミント (スポーツカード)
ルビーテイ (貴金属・アクセサリー)
ロンド自由ヶ丘 (シューショップ)

Foods & Liquors

銀座コーポレーター (洋菓子)
横浜 天 信 (弁当・惣菜)
トップ (スーパーマーケット)
フードランド (リカーショップ)

Cafe

文明堂茶館 ル・カフェ (喫茶)
喫茶室 銀座ルノアール (喫茶)

Restaurant & Bar

魚民 (のみくい処)
カウベル (パブ)
串の矢 (串料理)
神楽食堂串家 (串揚バイキング)
黒潮亭 (活魚居酒屋)
さっぽろ亭 (ラーメン・中華)
三熙 (中華料理)
食の楽園 (海鮮しゃぶしゃぶバイキング)
千山閣 (焼肉)
素材屋 (旨いもの俱楽部)
トプカ (インドカリー&欧風カリー)
どんたく (とんかつ)
ヤンキイス (スポーツカフェ)
夢屋歌之助 (カラオケ)
ヨコハマ・リトルダーリン (オーディオ・ライブハウス)

Service & Culture, etc

アビバ (日本パソコン学院)
占いコーナー
M.Mリフォーム (洋服リフォーム&クリーニング)
カラダ・ファクトリー (整体・カイロ・iropractic・足裏専科)
ガレリアセルテ (レンタルギャラリー)
関内アートスクール (アートスクール)
関内 本因坊 (囲碁サロン)
月桃荘スタジオ (クリエイティブハウス)
セルテ賃貸情報館 (不動産仲介)
せんたあ画廊 (ギャラリー)
高須クリニック (美容整形)
たかの友梨ビューティクリニック (エステティック)
武富士 (消費者金融)
刀狩歯科医院 (デンタルクリニック)
ネイル・シャイニー (ネイルサロン)
NOVA (英会話)
ビューティ田沢 (総合美容室)
横浜B.B.ストリート (ストリートライブハウス)
ロダン (理容室)
ロッキー (靴修理・合鍵)
W.A.S.ワールドエアシステム (格安航空券)

Precious for you
CERTE
<http://www.certe.gr.jp>

プロのために、
プロの品揃えです。



画材／書道用品／製図デザイン用品コーナー

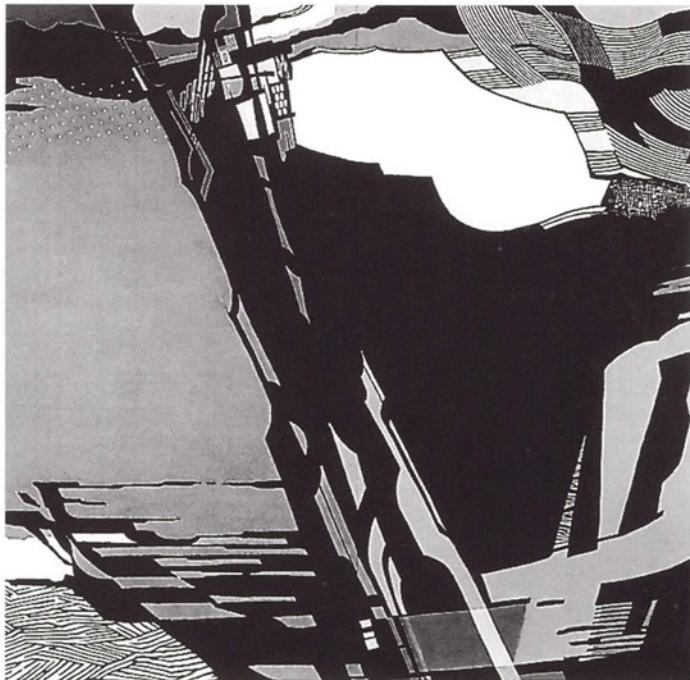
- 本店文具館 イセザキ町・本店文具館4F・5F … TEL. (045) 261-1231
- 藤沢店 藤沢駅南口名店ビル2F ……………… TEL. (0466) 26-1411
- 厚木店 小田急線・本厚木駅前 ……………… TEL. (046) 223-4111

※藤沢店は書道用具・日本画材のみ取り扱っております。

有隣堂ギャラリー〈イセザキ町・本店書籍館B1〉

布と遊ぶ

岡田ゆう子(2000年3月工芸染織科卒)。
第39回日本現代工芸美術展入選。卒業
製作「斜影」



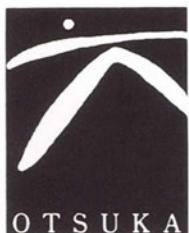
資料・願書無料送呈

学校見学随時

◎入学願書受付 推薦入学 10月1日～1月31日
一般入学 11月1日～3月31日

◆学科構成◆

テキスタイルデザイン科 (昼3年)
工芸染織科 (昼2年)
友禅染色コース
伝統織物コース
プリンティングデザイン科 (夜2年)
ウィービングデザイン科 (夜2年)



大塚テキスタイルデザイン 専門学校

(姉妹校) 大塚末子きもの学院 大塚情報処理専門学校

〒160-8560 東京都新宿区須賀町10番地 ☎03(3357)3671 FAX 03(3226)9745

URL : <http://www.otsukagakuin.ac.jp> E-mail : info@otsukagakuin.ac.jp

ケータイでも資料・願書請求、学校説明会申込可。 <http://www.otsukagakuin.ac.jp/k>



“夢”を“暖かさ”を“未来”を表現する。

旅先から届いた草のかおりのする絵葉書。街でふと見かけたやさしいまなざしのポスター。誕生日にさりげなく渡されたグリーティングカード。何気ない1枚の印刷物の中に“夢”を“暖かさ”をそして“未来”を表現できる力がある。技術が進み情報が豊富な今、人間の感性と個性を、そして人ととのコミュニケーションをなによりも大切にする企業でありたい。ハシモトコーポレーションは、そう考えています。

株式会社 ハシモトコ-ボレ-ショ

本社／〒229-1112 神奈川県相模原市宮下2-11-4 TEL.042-774-0081(代) FAX.042-774-0019 E-mail:info@hashico.co.jp
東京営業所／〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目40-5 東久ビル3F TEL.03-5214-5862(代) FAX.03-5214-5863
URL:<http://www.hashico.co.jp>



HASHIMOTO CORPORATION

第40回神奈川県美術展 関係者名簿

(平成16年9月8日現在)

神奈川県美術展委員会

委員長

原 范行

委員

神戸 由雄	相笠 昌義	岡 信孝	草薙奈津子
酒井 忠康	村井 進吾	和田 守弘	金子 賢治
永井鐵太郎	川口 流坡	仙場 右羊	村岡 秀男
大河原雅彦	笠井 郁彦	三角 秀行	

審査員

平面立体

相笠 昌義	草薙奈津子	宮崎 進	室井東志生
最上 壽之	和田 守弘	山梨 俊夫	

工芸

金子 賢治	坪内 君子	鳥毛 清	永井鐵太郎
林 良達	広川 青五	高垣 篤	

書

荒井 青莊	生尾慶太郎	島津 碧嵐	仙場 右羊
平松千恵子	船本 芳雲	水川 舟芳	

写真

江成 常夫	大河原雅彦	岡井 耀毅	田沼 武能
土田ヒロミ	浜口タカシ	村岡 秀男	

The 40th Kanagawa Art Exhibition 2004

第40回神奈川県美術展

発行：神奈川県美術展委員会 ©2004

神奈川県民ホール ギャラリー課内

〒231-0023 横浜市中区山下町3-1

TEL.045-633-3687

写真撮影：渡辺まこと

印刷：(株)ハシモトコーポレーション

発行：2004年9月8日

神奈川県美術展委員会
神奈川県民ホール〔財〕神奈川芸術文化財団
神奈川県